

ガマの油はほんまに効いたのか

—漢方薬あれこれ、生薬、漢方薬の科学性 2014.04 版—

中国・長春中医葯大学 客員教授 清原祥恵

第 1 章 動物生薬、植物生薬のおもしろいお話

- 1 ガマの油を塗ると腕の刀傷の血は止まったのは何故か
○がまの油は口上とおりほんまやろうか？
○ガマの油はインターナショナルの薬である
○ガマの油の成分センソをうみだす我が輩は「アジアヒキガエル」である
○ガマ毒成分は二系統にわかれる
1) 強心性ステロイド類 2) インドール系アルカロイド類
- 2 西太后は毎朝あるものを飲んでいた。
- 3 牛黄のお札はお寺の財源○牛黄の産地で値段が違うのは何故か。
- 4 熊胆（ゆうたん）
- 5 麝香（ジャコウ）
- 6 正倉院に保管管理されている生薬からわかる歴史上の人物の性格
足利義政、信長はくすりよりも、○○がすき
徳川家康は漢方薬おたく：関が原の戦いに何を持参していたか
- 7 古文書に出てくる日本最古の生薬はなにか 蒲黄（ほおう）
- 8 おとぎ話にでてくる植物 カチカチ山と生薬 唐辛子（キャプサイシン）

第 2 章 漢方薬の分類

生薬の分類法 古代 現代

その 1 漢方薬の剤型 湯、丸、散、末

湯 ○漢方薬の名前と会津藩白虎隊

丸 ○八味地黄丸 正露丸

お国のためなら薬の名前も変えます：日露戦争

征露丸から正露丸へ クレオソート、黄柏末

散 ○婦人、男性の妙薬：当帰芍薬散（まさにお父ちゃんが帰る）

その 2 漢方薬の分類 原料

- 1 植物性生薬 2 鉱物性生薬 3 動物性生薬

○ 現在、厚生労働省承認の漢方処方箋で、一番繁用している生薬はなにか

1 植物性生薬の代表

①源義経の常備薬 オタネニンジン (ginseng ジンセン)

高麗人参(朝鮮人参)

高麗人参の効用、 ドラマにみる高麗人参

② 奈良時代の高貴な人の悩み 大黃 (ダイオウ)

2 鉱物性生薬の代表

愛知万博と漢方薬 龍骨 (リュウコツ)

3 動物性生薬

牛黄 熊胆 (ゆうたん) 麝香 (ジャコウ)

身近に使われている生薬

第3章 元気で長生きする方法(健康年齢の保ち方)

1 ストレスためない。よく笑う

ストレスあると免疫力下がる 嫌な人とのつきあい方

ストレス解消法 天理大病院の報告 職業別病気 (私のストレス)

2 睡眠よくとる 何故人生の1/3は眠るのか

「1に睡眠2に〇〇〇。」「うどんやの一夜の風邪薬」

徹夜の勉強内容はすぐわすれるのは何故か

ナポレオン 3時間 ノーベル賞受賞者の睡眠時間 10時間

3 認知症にならないために

高麗人参 ヤマイモ成分

4 加齢によって活発化する免疫系

5 体温上げる(体温低いと免疫力さがる)

第4章 最近の話題

山中教授は21世紀の浦島太郎さん

違法ハーブ